



2024年9月10日

各位

住所 東京都千代田区麹町五丁目1番地1
会社名 芙蓉総合リース株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 織田 寛明
(コード番号: 8424 東証プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長 山崎 竜也
電話番号 03 - 5275 - 8891

**第2回ハイブリッド社債（劣後特約付）（サステナビリティ・リンク・ボンド）
の発行条件決定に関するお知らせ**

当社は、2024年8月19日にお知らせいたしましたハイブリッド社債（劣後特約付）（サステナビリティ・リンク・ボンド）について、本日、下記の通り発行条件を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

社債の名称	芙蓉総合リース株式会社 第2回 利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付） （サステナビリティ・リンク・ボンド）
社債の総額	金200億円
利率※1	年1.920%
償還期限	2059年9月18日
期限前償還	2029年9月18日及び以降の各利払日に当社の裁量で期限前償還可能
利払期日	毎年3月18日及び9月18日
利息の任意停止	当社は、ある利払日において、その裁量により、本社債の利息の支払の全部又は一部を繰り延べることができる
優先順位	本社債の弁済順序は当社の一般の債務に劣後し、優先株式と同順位、普通株式に優先する
払込期日	2024年9月18日
募集方法	一般募集
引受会社	みずほ証券株式会社 SMB C日興証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント※2	みずほ証券株式会社
取得格付	A（シングルA）：株式会社日本格付研究所 A-（シングルAマイナス）：株式会社格付投資情報センター
資本性	資本性「中・50%」：株式会社日本格付研究所 資本性「クラス3・50%」：株式会社格付投資情報センター
KPIs	・脱炭素推進に向けた資金投下額（単体） ・人材育成関連費用（単体）
SPTs	SPT1 5年間（2022年度～2026年度）累計2,260億円（単体） SPT2 2026年度300%（2021年度対比）（単体）
債券の特性	SPT1及びSPT2については、2027年8月末日を判定日として各SPTの達成状況を判定し、当該判定日から本社債の償還されるまでに、設定した各SPTの達成率を踏まえ、業績連動報酬の算定方

	法（非財務項目は計画値対比達成率）に基づき変動させた役員報酬額を当社役員に支払います
サステナビリティ・リンク・ボンドとしての適合性について	当社は、本社債をサステナビリティ・リンク・ボンドとして発行するにあたり、サステナブルファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」という。）を改訂しました。本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の定める「グリーンボンド原則 2021」「ソーシャルボンド原則 2023」「サステナビリティボンドガイドライン 2021」「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2024」、環境省の定める「グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン 2022 年版」「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022 年版」、金融庁の定める「ソーシャルボンドガイドライン 2021 年版」、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）及びアジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）並びにローン・シンジケーション・アンド・トレーディング・アソシエーション（LSTA）の定める「グリーンローン原則 2023」「ソーシャルローン原則 2023」「サステナビリティ・リンク・ローン原則 2023」に基づき策定しています。今回改訂した本フレームワークは、株式会社日本格付研究所よりこれらの原則等と適合する旨の第三者評価を受けています※3

- ※1 2024年9月18日の翌日から2029年9月18日までは固定利率、2029年9月18日の翌日以降は変動利率（2029年9月18日の翌日に金利のステップアップが発生）。
- ※2 フレームワークの策定や第三者評価取得に関する助言等を通じて、サステナビリティファイナンスの実行支援を行う者
- ※3 芙蓉総合リース「サステナブルファイナンス・フレームワーク」
（2023年9月 初版、2024年8月一部改訂）
https://www.fgl.co.jp/sustainability/esg/pdf/sustainable_finance.pdf
株式会社日本格付研究所（JCR）第三者意見
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>